

0 よりも大きな数を_____と呼ぶ。

正の数は_____の符号をつける。

例えば、0 よりも 5 大きな数は_____と書く。

0 よりも小さな数を_____と呼ぶ。

負の数は_____の符号をつける。

例えば、0 よりも 5 小さな数は_____と書く。

0 は、正の数でも、負の数でも、どちらでもない。

小学校の算数では、数字は、0 と正の数だけだった。

中学校の数学では、数字は、0 と正の数と負の数になる。

正の数と負の数をまとめて、正負の数と呼ぶ。

例題 1

以下の数を、正の符号、負の符号をつけて、表しなさい。

- (1) 0 よりも 2 大きい数字。
- (2) 0 よりも 2 小さい数字。
- (3) 0 よりも 7 大きい数字。
- (4) 0 よりも 7 小さい数字。
- (5) 0 よりも 100 大きい数字。
- (6) 0 よりも 100 小さい数字。

